

学科名	情報学科						
科目名	ネットワーク開発演習						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必修科目(ネットワークコース)／選択必修科目(ソフトウェアコース)						
担当者	山崎 重一郎、戒田高康						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークアプリケーションシステムを理解し実際にアプリケーションシステムのサーバの構築ができる。 ・ネットワークの運用管理における利用者管理法とシステム管理法について説明できる。 ・インターネットの脅威、ファイアーウォールの原理、セキュリティプロトコルについて説明できる。 ・課題を解決するための作業を列挙し、与えられた制約の下で計画を立てられる。 ・計画の進捗状況や問題点を把握し、計画を遂行できる。 						
日程と内容	第1回：導入講義－学習教育目標、講義の進め方、評価方法の説明、実験計画書の書き方 第2回：ファイルシステムのセキュリティ 第3回：利用者認証とアクセス制御 第4回：公開鍵証明書の発行（CAの構築） 第5回：公開鍵証明書の発行（各種証明書の発行） 第6回：ファイアーウォール（iptablesの原理とパケットフィルタリング） 第7回：ファイアーウォール（ポリシーの作成とiptablesによるファイアーウォールの構築） 第8回：DMZの構築（DMZネットワークとサーバの構築） 第9回：DMZの構築（プロキシサーバの構築と利用） 第10回：Webサーバのセキュリティ（SSLサーバの構築） 第11回：Webサーバのセキュリティ（SSLユーザ認証を使ったアプリケーションの作成） 第12回：Webサーバのセキュリティ（CGIのセキュリティ） 第13回：メールサーバのセキュリティ（安全なメールサーバ） 第14回：メールサーバのセキュリティ（スパム対策） 第15回：実習成果報告会						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	30%		プレゼンテーション		40%	
	課題						
	演習	30%		計		100%	
授業到達目標の達成度	授業内容としては、目標を達成した。実質的な受講者は全員合格した。						
反省点	内容的に難易度が高い科目であるが、履修者が少ないのが問題である。履修した学生は合格率が高い。						
来年度の計画	内容を大幅に修正して、難易度を下げる。チェックシートはノートに変更して学生が過去のログを参照できるようにする。また、授業資料を公開する。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容が難しいと感じている学生が多いので、内容のレベルをさらに容易なものに修正する。また、自分でも演習内容を復習できる環境を準備する。						
履修登録者数	23名	定期試験 受験者数	19名	合格者数	19名	合格率	100%